広報
さめがわ

昭和49年
5月号
No.246
編集兼発行
鮫川村総務課
塙町 佐藤印刷所



県南地方植樹祭行事鮫川村で

東西白河両郡と白河市の緑化推進委員会共催による昭和49年度地方植樹祭行事は、風かおる5月10日、鮫川村村民運動場を会場として盛大に行われました。

この日夜来の雨も上つて、絶好の植樹日和。知事代理初め管内市町村長、議長、県出先機関長、林業関係団体長その他関係者190名参集。先づ国旗を掲揚して式典に入り、東白川地方緑化推進委員長の石田村長が主催者側を代表してあいさつを述べ、知事代理横田農政部次長その他の祝辞がありました。

終つて記念植樹を行い、村民運動場の周辺に、ヒマラヤシーダ、くろまつ、つつじ、しらかば、かつらなど201本が植樹されました。

⊙ 1日　交通事故ゼロ、歩行者優先の日

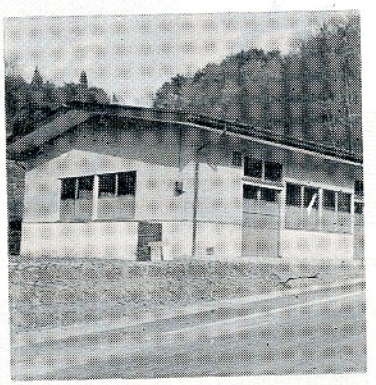
⊙ 毎月5日　交通事故相談日（白河地方行政連絡室）TEL 白河 (2)1550

⊙ 第3日曜日は『家庭の日』

今月の人口

（5月1日 現在）

人口	6,132	(－ 20)
男	3,076	(－ 6)
女	3,056	(－ 14)
世帯	1,195	(＋ 6)



塚本地区に野菜集荷所落成

農業経営近代化施設として、総事業費254万円で5月2日落成しました。

この施設は経営に野菜をとり入れた高能率野菜生産団地の形成を目ざすもので、今後の活用が期待されます。

人事

◎任　命　（五月一五日付）
公民館長　芳賀理男

◎異　動
社会教育課長　鈴木英亮（議会事務局長）
議会事務局長　赤坂義郎（学校給食センター所長）
学校給食センター所長　関根彦孝（消防防災係）
消防防災係　佐藤文夫（社会教育課）



おめでた

四月
発地岡　高野　勇一　父高野富一
官代　前田さおり　〃前田正喜
木戸沢　鈴木　孝次　〃鈴木正孝
中沢　根本ハルミ　〃根本幸一
吉合　斉藤　美和　〃斉藤芳信
辺栗　生田目昌信〃生田目春雄

おくやみ

四月　世帯主
木戸沢　石井カネ70才　石井辰弥
戸草　根本ミツヨ65才根本亀代次
中内　中川西ヨシ91才中川西利夫
滝平　円井良八78才　円井喜一
福原　蛭田ツネ89才　蛭田道郎
中沢　矢吹兼光71才　矢吹　伝
欠下　舟木照親81才　舟木義平
落合　我妻ヨシイ57才　我妻清治

成人式記念写真を受けとりましたか？

今年一月一五日、本村の成人式に参加された方の記念写真をまだお受けとりになつていない方は、公民館事務局にお申出下さい。



おはの歩み（37）

国民のこころのふるさと・山村

村長　石田卯子八

全国山村振興連盟は、全国の山村一一九四の町村を普通会員とし、関係衆参両院議員を特別会員とし、関係府県を賛助会員として組織されている全国組織で、山村問題では最も強い政治力をもつ圧力団体の一とされております。

今年の通常総会は、五月一六日に東京霞ケ関のイイノホールで開かれましたが、ここ数年来の中心議題は山村振興法改正の問題で、このたびも期せずしてこれに集約された形になりました。

もともとこの法律は、昭和四〇年に議員立法で成立した時限法で、昭和五〇年三月末で失効することになつております。

それで早くから法改正による期限の延長を要望してきたのでありますが、この機会に、社会状勢の大きな変貌に即して、この法律の目的性格をも改変すべきであるとの意見が強く起り、現在その方向に進みつつある状勢であります。

去る五月一日、田中内閣総理大臣は、高知市の遊説先で記者会見を行ない、「山村の地域較差を解消するだけでなく、国民のふるさと、国民の安息地としての山村振興を図ることが国民的要請である」と述べております。

このことについては、総会当日の午前中、野原正勝会長に私も同行して首相官邸に二階堂官房長官を訪ね、謝意を表明するとともに連盟側の要望する内容の法律改正が、速かに行なわれることを要請しました。

昭和四〇年に制定された山村振興法は、山村の乏しい経済力を培養し、都市との地域較差を是正することを目的としていましたが、施行一〇年にして地域較差が縮少されたとはいえないし、改正法では、これらの実績を踏まえて、更に山村のもつ社会的な機能と意義を明らかにし、自然環境の保全、水源の涵養、災害の防止、国民にやすらぎと憩いを与える心のふるさとを温存し、供与するなどの公益的機能を強調すべきことを要望しているのであります。

しかもこれらの公益的機能はこれを自然のままに放置して十分に発揮されるものではなく、山村に住む住民の生産活動や、生活行動を通じて期待されるものであることを考えるとき、山村の重要性は一段と強く認識されなければならないし、山村住民の過疎対策や環境整備や、生産、生活活動の近代化を促進する国家的施策が重要且つ緊急を要するものであることは、もちろんであります。

これらの思想を背影として、今年の全国山村振興総会は、例年にない熱気を帯びた大会として終始したのであります。



恒例の春季清掃、道路、河川愛護作業は、4月28日の早朝から終日行なわれました。

赤十字運動月間

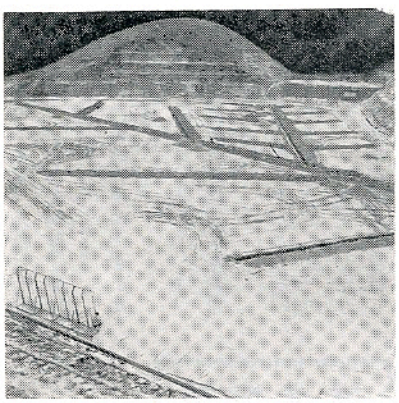
五月は赤十字の月です!!

一戸に一人は赤十字社員に!!

世界を結ぶ赤十字の組織を通じて、苦しんでいる人、悩んでいる人を助けようと、またお互いの住んでいるこの世の中を少しでも明るいものにしようと、赤十字社は活動しています。

昭和四九年度の社員募集と、社費の納入のため、区長さん、民生委員さんが皆さんのお宅を訪問しますので御協力下さるようお願いします。

村民運動場の表面排水工事完了



先年完成した村民運動場は面積が広大なため、表面排水が十分でなく、降雨後の使用に日数を要するので、村では地表面排水のための比較的浅い暗渠排水工事を計画し、最近完成しました。

これで運動場の利用率も一層高まるものと見られています。

届出を忘れずに

児童手当の諸届出

児童手当は、こどもを養育している家庭の生活の安定と、こどもの健全な養育をはかるために発足した制度です。

この手当を受けておられる方は次のような届が必要です。

◦子供が出生したとき
　増額改定請求の届
◦子供が死亡したとき
　減額改定届
◦子供が一八才になったとき
　減額改定、消滅届
◦毎年六月
　現況届（受給者全員）

これらの届出用紙は、住民課に備えてあります。

駐在所 こちら駐在所

行楽期の交通事故を防ごう

例年行楽期には、レジャーを求めてのマイカーで混雑し、事故が多発しています。十分注意し加害者、被害者とならないようにしましょう。

またこの時期には、酒のみ運転が目立つて多くなります。

安全運転のため、次のことは必ず守つて下さい。

☆酒のみ運転はやめよう

◦深夜の運転には酒のみが多い。
◦「少しぐらいは」とすすめられても、車であることを話してことわる。
◦酒のみ事故の多い時間
　村県道　一六時～一時頃

☆安全ベルトを着装しよう

酒よい、過労等による事故は、一方的過失によるもので、避け難い事故が多く、それだけに安全ベルトが必要です。

☆ヘルメツトを必ずかぶろう

◦二輪車による事故のほとんどは頭部に怪我をしています。自分を守るために必ずヘルメツトをかぶろう。
◦原付自転車（五〇cc以下）に乗るときも、ヘルメツトは必要です。
◦二輪車の同乗者も必ずヘルメツトはかぶろう。

国民年金 免除申請 受付中

病気や災害などで保険料を納めることができない人は、申請により免除になります。

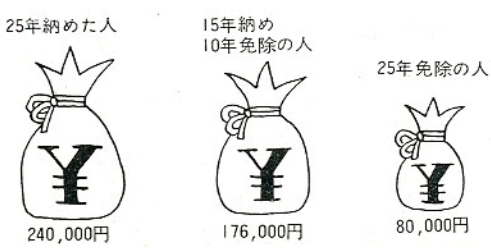
◉国民年金の免除申請は一年ごとに届出が必要です。

◉昭和四九年度保険料の免除を受けたい方は、七月末日までに印鑑持参のうえ、役場（住民課）で申請の手続をとつて下さい。

免除をうけますと、将来年金を貰うとき、納めた人より額が少なくなりますので、余裕ができたら免除の分を追納すると大変有利です。

◉納めた場合と免除をうけた場合と、将来支給される額は次のとおりです。

納めた（追納した）方がとく





農繁期の火災予防

いちだんと忙しい農繁期になり家を留守にする日が多く、留守の間に火災が起ることがあります。

留守にする時は必ず、火の元の安全を確かめてからおでかけ下さい

次のことは必ず守って下さい

一、マッチは子供の手のとどかない場所に置くこと。

二、林野の火入れ、焚火などは、前もって消防署に届出か電話連絡をして下さい。

三、山菜狩りでの、たばこのなげ捨ては、絶対にしないこと。かならず消してから捨てましょう

四、石油フロ釜などはよく点検し油もれなどに注意すること。

五、土手の枯草や枯枝を燃やしているうちに、山に燃えうつることがありますので十分注意して下さい。

!!
火事と救急は一一九番
!!

お礼

さぎり荘

開荘以来予想を上回る御利用をいただき、職員一同張合いのある毎日を過しております。これからも皆様の憩の場として、より親しく気軽にご利用下さいますようお願いします。

此のたび次の方々から御厚志のご寄付を頂きました。厚くお礼申しあげます。

◦民芸品（みの）一着
古殿町　中河西仁兵衛様

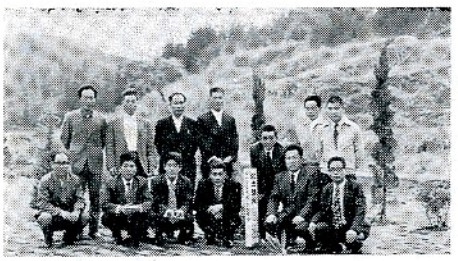
◦コツプ　五〇ケ
石井草　中川西金之助様

◦桜ぼたん（三本）
西山　鈴木　重行様

◦ヒマラヤシーダ
外六種類（三三本）
昭和四九年初老会
代表　鈴木　一良様

★お願い

庭の湿地（一アール）を利用して、「あやめ園」を造る計画ですが、苗不足のためまだ出来ないでおります。あやめ、花しょうぶをお持ちの篤志の方に、御寄贈いただきたくお願いします。

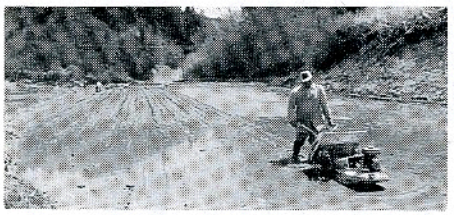


さぎり荘へ記念植樹を寄贈された昭和49年度初老会の皆さん

畜産情報

4月市場子牛取引価格（4月20日）

項目		市場総数	鮫川村	本人取
出場頭数	雌	99頭	33頭	
	雄	71頭	15頭	
	計	170頭	48頭	
平均価格	雌	230,505円	254,133円	
	雄	174,347円	170,286円	
	計	206,197円	227,455円	
最高価格	雌	481,000円	481,000円	
	雄	232,000円	205,000円	
最低価格	雌	149,000円	181,000円	
	雄	123,400円	148,000円	
最高価格牛出品者	雌	阿久津光翁	阿久津光翁	
	雄	近藤　幸吉	関根　初男	



〈カメラルポ〉

阿武隈の山々も新緑にもえ、いよいよ農繁期。田植も今が最盛期で軽快なエンジンの音が青空の下にひびく。

〔税務署だより〕

税金はみんなのために使われています

私たちが生活していくためには道路や上下水道、学校、社会保障など社会全体として必要なものや制度がたくさんあります。このようなものを整備したり、病気や貧困を防ぎ、暮らしを豊かにしていくために国はいろいろな活動を行っています。国がこれらの活動を行うために必要な費用の大部分は私たちが納めた税金で賄われています。昭和四九年度の国の一般会計予算は一七兆九百九四億円で、このうちの約八〇％は私たちの納めた税金です。

これを税金千円あたりの使いみちにしてみると次のとおりです。

